

## 社会貢献活動の基本方針

荏原グループは、事業活動を通じて社会に貢献することを企業理念に定めていますが、事業以外でも様々なコミュニケーションを通じて地域・社会の発展に貢献しています。これは、荏原グループは企業が地域や社会と積極的にコミュニケーションを図り、地域の課題解決やよりよい社会づくりに関わっていくことは、企業の重要な役割のひとつだと考えているからです。

社会貢献活動を展開するにあたり、荏原グループは以下の3点を基本方針に具体的な活動を展開しています。

- ① 事業活動で培った技術やノウハウ・強みを活かして社会貢献活動を推進する。
- ② 科学技術・環境・伝統・スポーツなど様々な活動を通じて次世代を担う人材の育成に貢献する。
- ③ 地域や社会の課題を把握し、ニーズにあった貢献活動を実施する。

## 活動分野と主な活動

荏原グループでは基本方針に従い、主に「技術・芸術振興」・「地域交流」・「社会福祉」・「環境保全」・「スポーツ振興」の5つの活動領域で社会貢献活動を展開しています。活動を展開するにあたり、「継続性」を常に心掛けて

います。社会貢献活動は一朝一夕で成果が出るものではありません。支援する団体や地域の方々とのコミュニケーションを通じて、変化する課題やニーズを把握しながら、継続的に改善を重ねています。

主な社会貢献活動 (2014年度末現在)

活動領域	主な活動	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2014
技術・芸術振興	皇山清二記念荏原基金							.....
	皇山文化財団の支援							.....
	皇山記念館の支援							.....
地域交流	事業所納涼祭							.....
	工場見学会							.....
社会福祉	古着・使用済切手・海外コインによる寄付活動							.....
	東日本大震災復興支援活動							.....
環境保全	WWF支援							.....
	荏原グループ世界の子ども環境絵画展							.....
	「水と空気と環境の森」保全活動							.....
スポーツ振興	羽田ヴィッキーズの支援							.....
	荏原湘南スポーツセンターによるテニス普及支援 <a href="http://www.ebarassc.co.jp/">http://www.ebarassc.co.jp/</a>							.....



工場見学会



「水と空気と環境の森」保全活動

## 2014年の活動目標と成果

活動領域	活動目標	活動の成果
技術・芸術振興	畠山清二記念荏原基金において地域のニーズにあったテーマのセミナー開催	灌漑用ポンプ(カンボジア)、水道用ポンプ(ミャンマー)などのセミナーを開催 ● 開催国5か国、開講セミナー 10講座、受講者数 609名
地域交流	事業所見学会等による地域との交流推進	藤沢事業所で地域の方々に参加できる事業所説明会の開催 ● 開催回数 2回 参加者 94名 事業所納涼祭の開催 ● 5事業所(藤沢、富津、袖ヶ浦、栃木、鈴鹿)
社会福祉	社会福祉活動の強化	休眠衣料回収・寄贈活動の充実 ● 寄贈頻度 年1回から月1回収に変更 ● 支援団体 2団体(1団体追加支援) ● 休眠衣料寄付量 約205kg
環境保全	環境教育を目的とした自主プログラムの企画・実施	子供向け環境教育プログラムの実施 ● 開催回数 2回 参加者 65名
スポーツ振興	羽田ヴィッキーズと連携したバスケットボールの振興	羽田ヴィッキーズの「バスケットボールクリニック」を後援 ● 開催回数 60回、参加者 4,464人

なお、詳細は当社Webサイトをご覧ください。 [Web](http://www.ebara.co.jp/csr/communication/community/) 「地域・社会とのコミュニケーション」  
<http://www.ebara.co.jp/csr/communication/community/>

### ■ 畠山清二記念荏原基金 技術セミナー

5代目社長、故畠山清二は「地域社会とともに生きる荏原」という理念のもと、荏原が培ってきた技術や経験を世界各国の社会基盤の整備や改善に役立てるために、「畠山清二記念荏原基金」を設立しました。1989年の創設以来、東南アジアを中心に無償の技術セミナーを開催し、利益を目的としない荏原らしい社会貢献と位置付け、活動を続けています。

2014年度、カンボジアでは二期作による稲作の収穫量の増量という現場の課題に対し、雨季でも乾季でも稲作を行える灌漑設備用ポンプセミナーを開催することで現地のニーズに応えました。また、ミャンマーでは老朽化した水道施設の更新という課題に対応するために、技術者のスキル向上が求められており、水道用ポンプセミナーを開催しました。

[Web](https://www.ebara.co.jp/csr/communication/community/arts-technology/contribution/) 「畠山清二記念荏原基金」  
<https://www.ebara.co.jp/csr/communication/community/arts-technology/contribution/>

## 2015年度の活動方針

次の3点を活動方針として目標と定め、社会貢献活動を更に促進していきます。

① 事業活動で培った技術・ノウハウを生かした社会貢献

### ■ 従業員が参加しやすい社会貢献活動の推進

荏原グループでは従業員一人ひとりが気軽に参加できる社会貢献活動メニューを増やし、活動内容を充実させることで、社会貢献活動に取り組みやすい環境の整備に取り組んでいます。

それは、社会貢献活動が地域や社会の抱える課題の解決に貢献しているだけでなく、それに取り組んだ従業員一人ひとりが感じる「より良い社会や地域づくりに参加しているという達成感や充実感」が業務に向かうモチベーションややりがいにより影響を与えているからです。

従業員一人ひとりが業務とのバランスを保ちながら積極的に社会貢献活動に参加しています。

活動の更なる推進

② 理系教育・ものづくりの次世代育成支援を推進

③ 地域貢献活動の更なる推進